

所感

理事長 竹本 賢生 (日本紙管工業株式会社)

第三十七回通常総会を去る五月に、名古屋犬山ホテルにおいて開催し組合役員と各委員会が決定し、盛大のうちを終了する事が出来ました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。上場企業前三月期は、各企業が人件費を中心に固定費を削減した結果、日本の製造業の収益力が高まり、バブル崩壊後の損益分岐点売上高が二〇〇三年三月期は、一九九三年三月期より一三%低下し売上が減少したにもかかわらず、利益を生み出せる構造に変わりつつある。しかし収益構造の改善に貢献したのは固定費の削減で、収益の本格回復には、売上そのものを伸ばす競争力のある商品戦略が不可欠です。

この景況感を反映し、株価も日経平均株価が年初来の九千円急回復から、一万円越えを維持し、連日景気刺激への期待が高まり、株価急回復で、萎縮していた企業や個人の心理が好転し、実体経済に好影響を及ぼす可能性が出てきた。

景気悲観論後退↓株高↓投資・消費拡大↓景気回復↓株高の好循環の期待も一部で言われる、反面、失業率が六・三%と横ばいが続き、経済には活力が戻ったと実感はありません。

業界においては、八月に入り段ボール原紙メーカー王子板紙が中しん原紙、ライナー原紙を一三%、一五%の値上げを打出し、また九月にはレンゴーも一五%値上げを表明して

います。ともに紙管原紙メーカーでもある二社を含め、年初の価格値上げから、もう一段の価格修正を目論んでいます。

需要の回復が期待できない厳しい状況下、紙管製品へのデフレ圧力が高まる中で、業界が状況を正しく把握し、強調とフェアな競争で業界活動をすべきです。

このデフレ時代、業界として存続する為には、技術革新、生産革新による大きな付加価値の追求が不可欠です。

健全な経営を効率的に運営する手段を、業界全体で考えようではありませんか。

全国紙管工業組合が、業界が発展するよう協力を、会員一同が自覚願ひ、原材料の安定化、紙管製品価格の安定化、向上を目指し体質強化を考えよう。

基本方針

- ① 紙管製品製造業界の関連情報を収集し配布する
- ② 組合員企業の生産、販売、労務状況の調査を行う
- ③ 紙管製品製造業者の組合員への勧誘を行う
- ④ 地球環境の保全に関する諸事業を実施する
- ⑤ 紙管製品製造に伴う各種研究会等を実施する



去る五月十五日、愛知県犬山市「名鉄犬山ホテル」におきまして、当組合第三十七回通常総会を開催致しました。

総会は、組合員六十社(内委任状出席三十社)と東部地区顧問中村氏のご出席を得まして、平成十四年度収支決算書、平成十五年度事業計画案・収支予算案の件を審議の結果、全議案が原案通り可決承認されました。

また、役員改選につきましては、先にお送り致しました「役員候補者名簿」の候補者が満場一致で承認され、総会終了後の新理事会にて竹本理事長の留任が決定されました。

総会終了後には懇親会を盛会に開催しました。

翌日のゴルフコンベンには十五名が参加、優勝は中島氏、準優勝は平手昌彦氏、三位横田氏でした。

第三十七回通常総会

- 理事長 ● 竹本 賢生 (留任) 日本紙管工業株式会社 代表取締役
 - 副理事長 ● 横田 晴啓 (留任) 三協紙業株式会社 代表取締役
 - 赤柴 勝三 (留任) カオル工業株式会社 代表取締役
 - 下畦 正明 (新任) 西日本紙管株式会社 代表取締役
 - 専務理事 ● 田中 四郎 (留任) 田中紙管株式会社 常務取締役
- 委員会構成 —
- 総務委員会 ○ (委員長) 横田 晴啓 三協紙業株式会社 代表取締役 (副委員長) 井出 景逸 株式会社永幸 代表取締役 (委員) 春山 正智 大和川紙工株式会社 代表取締役 山崎 義弘 立山製紙株式会社 常務取締役 中島 昌之 大栄紙管株式会社 代表取締役
 - 技術開発委員会 ○



2003.5.15 第37回 全国紙管工業組合 通常総会 於 名鉄犬山ホテル

- I-T推進委員会 ○ (委員長) 村上 和弘 株式会社竹林紙管 代表取締役 (副委員長) 米谷 啓和 米谷紙管製造株式会社 代表取締役 (委員) 田中 四郎 田中紙管株式会社 常務取締役 武川 和義 武川産業株式会社 代表取締役
- PR委員会増強委員会 ○ (委員長) 鈴木 基一 株式会社鈴木松風堂 代表取締役 (副委員長) 平手 昌彦 丸平紙工株式会社 代表取締役 (委員) 牧野 幸良 (新任) 日本紙管株式会社 代表取締役 平田 浩三 (新任) 平田紙管株式会社 取締役兼営業部長

▼技術開発委員会▲

委員長 下睦正明 西日本紙管株式会社 代表取締役

去る十月九日(木)午後一時より、愛知厚生年金会館ウエルシテイなごやにて恒例の研修会を開催致しました。本年度テーマは「トヨタ生産方式について」で、大西マネジメント・ソリューションの大西正規先生から、第一部トヨタ生産方式入門 第二部①導入例とその効果②紙管業界での適用例について講演をいただきました。

講演は大変中身の濃い内容で、一部、二部とも時間をオーバーして行われましたが、トヨタ生産方式の成り立ちやその目的とするところを十分聞くことができたのではと思います。

トヨタ生産方式の基本思想は、①徹底したムダ排除 ②人・物・設備をフルに活用 ③ジャスト・イン・タイムに生産する、の三点でこれらの内容についてわかり易く説明をして頂き、また紙管工場において、どういった点に着目していくかについても参考例を上げて説明をして頂きました。トヨタ生産方式は、「儲ける生産技術」であり、業務の合理化・経営戦略の一環として重要なポイントとなると講演は行われ、組合員四十五名、製紙メーカー十名、代理店九名、新聞各社三名総勢六十七名の参加を得て開催されました。

また、研修会終了後は懇親会が開催され、短い時間でしたが和やかに、かつ活発に交流を図ることができました。



▼総務委員会▲

委員長 横田靖啓 三協紙業株式会社 代表取締役

総務委員会では、先般七月末時点で恒例の紙管製品品種別景気動向調査を実施致しました。

今回の調査は、久しぶりに四十社を超える四十三社の回答を得ました。組合員各位には改めて厚く御礼申し上げます。

す。

調査の内容は、引き続き依然として景気停滞を反映し厳しい状況を示したものとなりました。先行きの見通しも大半は減少傾向を示し、良くも横ばいと言うところで、ごく一部の分野で増加傾向のみられるのは、僅かではあるが期待を抱かせると言えます。製品価格についても、原料が上がったにも拘わらず、全ての分野が下降を示し、我が業界の厳しい現実が伺われます。くわしくは、お手元にお届けした結果報告をご覧ください。

▼IT推進委員会▲

委員長 村上和弘 株式会社竹林紙管 代表取締役

当委員会は今年度より新たに設けられた委員会であり、その目的は、名前の通りITの推進であります。

主な活動としては、組合内のIT化を推進して組合員に対して様々な情報をリアルタイムに発信できるようにしたり、また組合員の意見を広く得られるようにすることを考えています。加えて、組合員各社に対してIT化をさらに推進するための情報の提供や、IT化の遅れているところに対してはIT推進のための相談の対応をおこなって行きたいとも考えております。

最近の情報技術の進歩は目を見張るものがあり、インターネットの利用やEメールのやり取りなどはもう当たり前のもものとなって来て、誰でもが一度は利用したことがあることでしょうか。

しかし今後は一部の大企業だけではなく、すべての企業がただ使えるだけではなく、日常の業務の中でどの様に活用し、どんな効果を上げられるかが重要になってき、対応の遅れた企業は生き残りさえも危ぶまれることになるかも知れません。

この二、三年でIT環境はさらに非常に大きな変化もたらせられることでしょうか。この波に乗り遅れることのない様にするためにも、当委員会としては出来るだけのことをおこなって行きたいと考えていますので、ご支援ご協力をお願い致します。

▼PR会員増強委員会▲

委員長 鈴木基一 株式会社鈴木松風堂 代表取締役

当委員会は、今期より、「PR会員増強委員会」と改称されました。

現在の全国紙管工業組合の会員数は、六十四社です。全国には、まだ、加入されていない会社が多数あり、組合員各社の情報交換により、一社でも多くの加入のお誘いをお願い申し上げます。

「THE PAPER TUBE」紙面により、組合の活動報告や新商品紹介、技術開発情報、国際情報等を掲載し、業界の発展と製品の普及、向上を計りたいと思っております。

●●●●●青年部会活動報告●●●●●

日頃は青年部会の活動に、ご理解ご協力を賜りまして感謝致しております。

お陰さまで青年部会も発足約四年となり、現在では部会からのアウトプット一号となります。「紙管用語集」の編集作業を中心に活動を行っております。部会員の一致団結とご協力により編集作業も順調に進行しております。来年度早々には皆様のお手元にお届け出来ると思っております。

さて我々紙管業界を取り巻く経営環境は一向に良くなっておりません。販売数量の減少、価格協力要請、同業他社の競り込みによる価格下落、更には紙管原紙の値上げ情報等悪要因は後をたちません。この様な環境の中、業界の安定と更なる発展の為に組合員各社の協調と秩序ある競争が不可欠であると確信致しております。

その様な意味からも「青年部会」の存在・活動には上部組合からもかなり期待されております。

これからも、紙管業界の発展の為に意義のある活動を行って頂く所存でございます。

又、部会員全員で一致団結し活動して行く事にこそ意義があると確信して推進していきたいと考えております。

今後とも皆様方のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

少し古い話ですが、本年三月に行われた中国視察ツアーについて、ご報告したいと思います。近年その躍進振りに目を見張っておりました中国の現状を見に行こうと語が出たのは、昨年の秋の頃でした。

国際情報委員会を中心に時期、日程を決めました。今回の海外視察ツアーは組合としては十数年ぶりの実施ということでした。

今回の中国視察ツアーは北京で開催された「PRO PACK BEIJING 2003」の会期に合わせて日程をセットし、また中国の紙管業界の現状を見学することを主眼に計画を立てたのです。

参加されたのは、十二社十七名で、北京、上海の全行程参加組と上海のみの組で途中合流という形となりました。

簡単に行程を紹介しますと、

▼二〇〇三年三月三日(月) 成田(四社八名) および関空より(二社一名) 北京へ出発

北京到着後合流し宿泊先のホテルへ

▼二〇〇三年三月四日(火) 終日「PRO PACK BEIJING 2003」会場にて見学

▼二〇〇三年三月五日(水) (北京組)

早朝五時起きで北京中心部より三時間の所にある「CHINA BOSEER GROUP」の見学に向かう。今回のツアーでの見学先で、唯一の紙管主体の会社ではないかと思えます。

見学後、空港に向かい、空路上海へ移動。

(上海組)

成田(四名五社) および関空より(二名二社) 上海へ出発。

上海到着後合流し、ホテルへ向かう。夕方、北京組と合流する。

▼二〇〇三年三月六日(木)

午前 上海愛麗頓影印芳香包材(有) 各種印刷、紙器

午後 上海栄翔包装製品(有) 各種紙器、容器類

▼二〇〇三年三月七日(金)

午前 上海聯合包装(有) 段ボール、紙管製造設備有



をしていただいた方が、日より派遣されている責任者の方であったので、お話しも良くなり色々伺うことが出来ました。

午後 亞洲紙業(上海)(有) 段ボール

東南アジアでは大手のAPP(アジアペーパー)グループの工場で、その大きさには大変驚きました。

▼二〇〇三年三月八日(土)

全行程を無事終了し、上海より成田、関空へ帰路の途に。

実際に行ってみますと、やはり中国と一言で言っていますが、その広さには大変驚きます。

この広大な国土と人口の多さ、また中国の人たちのバイタリティを実際に見てみると、将来どうなっていくのか、どうしていかなければならないか考えさせられる旅でした。

今回のツアーで多分皆様が困ったと思われるのは、本業以外の食事ですが、昼食、夕食が大変豪華な中華料理で、それに相当な量の紹興酒でしたので、全員の間がかなり疲弊していたのではと思います。次回行くときはせめて昼は軽くして夜に備えたほうが良いのではと感じました。

ツアーの間、事故やトラブルも無く、無事終了出来てホッと安心でしたが、帰国後、しばらくするとご存知のSARSの問題が出てきました。

ひよっとすると思いましたが、全日何事も無く今日に至っております。



特許出願中

新無可塑剤型
紙管用接着剤
A-560シリーズ



アイカ工業株式会社
東京本社 化成品カンパニー営業部
東京都練馬区豊玉北6-5-15 アイカ東京ビル
☎03-5912-2774

紙は時代のメッセージ。 富山製紙株式会社
代表取締役社長 寺崎 敏治
TOYAMA SEISI
本社工場/富山市下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498

紙管用接着剤
コニシ株式会社 代理店
株式会社 旭 栄
大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

環境に配慮した 無可塑剤型 紙管用接着剤
ボンドCNシリーズ
ボンドCN140 ボンドCN150
コニシ株式会社 (ボンド事業本部)
本 部 / TEL.06-6228-2951
東京支店 / TEL.03-5259-5734

昭和高分子の 紙管用接着剤 ポリゾール
昭和高分子株式会社
取締役社長 山村敏夫
本 社 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-20
電話 03-3293-8844 (代表)
支 店 大阪・名古屋・仙台・福岡
富 士 富士・高松
工 場 伊勢崎・高崎・竜野・大阪

平田紙管株式会社 取締役営業部長 平田浩三

まず、初めに皆さん福山は、地理的にどこがお分かりですか？

よく福島・福井と勘違いされる方がいらつしゃいますが、広島県の東端、岡山県との県境に位置しておりますが、悲しいかな倉敷や尾道に比べやや知名度は低い？

さて、前置きはこれくらいにして、我が町福山をご紹介させていただきます。

備後、福山は万葉の時代より、京の都と九州太宰府を結ぶ大路西陽道の要衝であり、海路においても瀬戸内の東西潮流の境目という自然環境が生み出した「潮待ちの海域」であった。

すなわち「瀬戸内のへそ」と言えるこの地域は、空海（弘法大師）をはじめとする多くの文化人・歌人・商人・役人・遣唐使など、様々な人が集う「であい」のまちとして発展し、現在の広島県第2のまちとして地方拠点都市の役割を担っています。

福山市は、一九六一年の鉄鋼基幹産業の立地と、一九六四年の備後地区工業整備特別地域の指定を契機とする鉄鋼業と、繊維、木工、機械金属など、多様な地場産業の集積により発展してきました。

近年では、大手半導体工場の立地も進み、特定分野において、全国でも有数の技術力やノウハウを活用して、特色ある製品づくりや日本一の生産量を誇る企業も数多くあります。

なかでも、福山琴、下駄、備後餅は伝統的な地場産業として全国的に高いシェアを誇っています。（福山琴は国の伝統的工芸品に指定されています）

福山市は一九四五年八月八日の大空襲で市街地の大半を焼失し戦後、新しい都市計画のもとに再建復興が進められ、町は姿を一新していききましたが、市民の心はなかなか混迷を抜け出せませんでした。

これを憂えた南公園（現在のばら公園）付近の住民は、「花こそ人の心が和らぐもの、花を育てよう」と、一九五六年の春、その空き地にばらの苗木約一〇〇〇本を植え付けました。

住民たちは、日夜を問わずばらの世話をしつづけ、やがて一〇〇〇本のばらは真っ赤な花を咲かせたのでした。

こうした住民の熱意は人々の心を打ち、一九六八年には『全国美しい町づくり賞・優秀賞』を受賞しました。

一九八五年四月、ばらは市の花に制定され今では、市内各地に約四十五万本のばらが咲き誇っています。公園内には二八〇種四五〇〇本のばらの木があり、毎年春と秋に多彩なばらの花が咲き乱れ、五、十月が見頃です。

毎年五月中旬頃には、福山ばら祭がこのばら公園を中心に開催され、「ミスばら」コンテストや幼児、児童の写生大会、ばらの苗木販売などが行われ、福山の一大イベントとなっています。

余談

備後久松城（福山城）を築城した場所が、蝙蝠山（こうもりやま）といわれていたことから福に通ずる「蝠」を表現、さらに「山」をかたどって福山を示した。

●シンボルマークの由来●

このマークは「女性と男性、大人と子どもが向かい合って、ばらをはぐくみ、支え合う姿を象徴化し、全体でばらの姿を表現」してあります。

一九九三年十一月二十九日公募により制定されたものです。



ばらのまち福山

大和板紙株式会社

代表取締役社長
北村光雄

〒582-0001 大阪府柏原市河原町5-32
TEL 0729-71-1445 FAX 0729-71-1449

中芯原紙、紙管原紙
美粧段ボールケース

株式会社 岡山製紙

取締役社長 佐藤 勇

〒700-0845 岡山市浜野1-4-34
TEL. (086) 262-8750
FAX. (086) 264-4943

HAYASHIBARA
GROUP

新商品

スライダーKS 完全水性 紙管用滑走剤

HMノールCK-551 寸法安定性良好 接着剤

紙管用接着・すべり剤製造販売

株式会社 森川商店
代表取締役 森川敬介

【本社】京都市下京区堀川五条上ル TEL: 075-341-8121 FAX: 075-341-8143
【テクノセンター】草津市馬場町字岩田原1200-39 TEL: 077-516-2321 FAX: 077-563-8894

セキスイエスデザイン株式会社

環境に優しい 紙管用接着剤



大きく育てよう。市場に学び、可能性にチャレンジ

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-2-9(船場フジビル)
Tel: 06(6261)9783 Fax: 06(6261)0815

再生可能な防湿紙
「エコパス ecopass」

自然環境を守り、資源循環型企業をテーマに、研究・開発を行いリサイクル可能な防湿紙を商品化しました。

ポリエチレンラミネート紙に変わる、高防湿性でありながら高融解性を兼ね備えた新開発の防湿紙です。

主な用途として、PPC用紙・感熱紙・新聞原紙・銅板用の包装紙。防湿紙管の表面紙など40g/m²、200g/m²までのクラフト紙・ライナー紙など様々なご要望に応じた原紙の塗工が可能です。

（お問合せ先）

大和川紙工業株式会社

大阪府天王寺区上本町五丁目二十一

TEL 06-6763-0291

FAX 06-6763-0706



E-Mail headoffice@yamatogawa.net

「曲がる？」紙管

当社では、自由自在に曲がるフレキシブルパーチチューブ（曲がる紙管）を開発、販売を開始しました。

【規格】

内径 5φ〜50φ
長さ 1000mm

用途として、曲線を有する部分の保護材等、またディスプレイや玩具等にご利用ください。

（お問合せ先）
カオル工業株式会社
〒228-0828
相模原市麻溝台6-15-3
TEL 042-742-5197
FAX 042-746-2106



ブラツバ、ブリテクター
—フィルムロール製の—

フィルムロール製品向け梱包材には、紙管を含め多くの包材が利用されておりますが、これらの包材にも、クリーンであることや、環境への配慮からリターナブル機能の要求が年々増加しており、それに添えるべく開発された商品です。

フィルムロールの保管や輸送時に対する安全を確保しながら、何度でも使用できる包装材として既に多くのフィルムメーカーからの使用実績と高い評価を受けております。

使用方法として、フィルムロール製品を宙吊りの状態で梱包され、プラスチックバンド、ストレッチフィルムによるシースルー包装の形で利用されておりますが、「製品が良く見えることで輸送時のトラブルが減少した」、「フィルムを取り出した後の包材の廃棄物量が減少した」と、ご好評を頂いております。また、破損等で使用できなくなった場合でも、マテリアルリサイクルが出来る商品でもあります。

他に、物性、使い勝手をさらに進化させた、新しいフィルムロール用の宙吊り包材として「ブラテクター」を開発中。より多くのお客様に満足頂ける商品をご提供しております。

お問い合せ、カタログ等のご請求は株式会社昭和丸筒までお願い申し上げます。

（お問合せ先）
株式会社昭和丸筒

西日本営業開発 尾持輝樹

TEL.0729-81-4066 FAX.0729-81-4065

東日本営業開発 岡村悦典

TEL.03-3242-2751 FAX.03-3242-2760



福山製紙株式会社

代表取締役社長
中川雅夫

〒532-0031 大阪市淀川区加島2-2-1
TEL.06-6301-2131 FAX.06-6301-2919

包装と物流の新しい可能性を探る



本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
梅田阪神第一ビルディング (06)6345-2371
ホームページ http://www.rengo.co.jp/

「素朴な疑問：なぜ紙管原紙は高いの？」 福山製紙に聞きました。

梅雨もまだ明けぬ雨のち曇り、今の日本の経済状態を表す様な七月二十三日、我々、PR会員増強委員会のメンバーは、その疑問に対して、田中常務や田中相談役、黒田顧問にお尋ねしました。



福山製紙株式会社は、創業以来百年間、古紙を主原料としたリサイクル産業（平成十二年六月、ISO14001認証取得）で、大阪市内で発生するダンボール古紙を大量に集荷再利用しており、都市廃棄物処理に積極的に貢献している。

抄紙エネルギーは、天然ガスタービンで自家発電され、余熱を紙の乾燥に利用する事により、熱効率を80%にまで高め、二酸化炭素の発生量を削減し、元来、大量の水を使用する製紙業界であるが、福山製紙株式会社は、再生水を利用する事で、昔の製紙の1/60の水の使用量に抑え、地球環境にも貢献し、生産の効率化を進めている。



紙管原紙と中芯原紙の価格差について聞きました。同じ原料なのに紙管原紙は、約2倍の単価なのはなぜ？

紙管原紙は、要求される品質、特に強度、乾燥度、厚さ精度の要求等が大変厳しく、それを満足させる為には、中芯原紙と違い、薬品量、エネルギー原単位、原料歩留、低い生産性、低設備効率等、幾多の問題点がある。メーカーとして、不本意ながら、その為に紙管原紙と中芯原紙の価格差が出ております。

中芯原紙は紙管原紙として利用できないのか？



管強度がでないと思えます。ヨーロッパの様に薄い紙の多層巻きや、捲層剤の選択研究等がなされれば、中芯原紙でも紙管が巻けると思われます。

紙管原紙は、なぜ厚み表示なのか？

出来上がった紙管の内径、外径の規格を満足させる為に、原紙の厚さ管理が必要なのです。一般的に、板紙の取引は坪量、実取引・実重量取引ですが、昭和四十六年頃に紙管原紙は密度取引・計算重量取引という、いささかアブノーマルな取引形態になりました。これが価格の不透明さの原因になっています。500gの紙を450gで同じ厚さにする事も可能で、メーカー較差も発生しています。

紙管業界から、高い高いと言われながら、我々、原紙メーカーは、諸々の条件による高コストに悩まされ続けてまいりました。需要家からの際限のない品質アップ要求に抗しきれず、又同業者間の過当競争に災いされて、コストアップによる経営圧迫は遺憾ともしがたく、現状では、国際価格からいささかかけ離れた結果になってきているのです。

品質面でのユーザーニーズに対しては、未だ国際競争力をキープしているのですが、価格面では、将来的



に大きな問題をはらんでいると思えます。紙管業界と原紙メーカーが一体となって、この問題を真剣に考える時が来ていると思うのです。トータル的グローバル化に対応していく努力が、今、求められていると思えます。

福山製紙株式会社の方々には、大変お世話になりました。有難うございました。福山製紙株式会社の紙管原紙の製造に対する取り組みは、地球環境や地域環境に貢献され、我々の材料として供給されています。

我々、紙管業界としても、その材料を使い、環境に貢献出来る紙管商品の開発や世界をリードする商品作りに、誠意努力したいと、改めて心致しました。



●紙管原紙統計表

年月	生産	出荷				月末在庫
		計	販売		その他	
			数量	金額		
平成10年	310,189	307,013	273,260	17,702	33,753	19,992
11年	307,670	309,643	274,743	17,460	34,900	18,071
12年	313,845	313,200	279,401	17,560	33,799	18,716
13年	306,083	300,718	268,677	16,536	32,041	21,837
14年	305,995	310,189	273,582	15,952	34,078	19,325
15年 1月	26,421	25,477	23,273	1,354	2,204	20,269
15年 2月	26,369	25,602	23,416	1,341	2,186	21,033
15年 3月	29,198	27,352	25,129	1,448	2,223	22,879
15年 4月	27,971	26,878	24,759	1,448	2,119	23,928
15年 5月	25,800	25,732	23,707	1,389	2,025	24,040
15年 6月	27,384	25,220	23,081	1,353	2,139	26,204
15年 7月	27,005	27,635	25,473	1,500	2,162	25,564

●お詫び●

「THE PAPER TUBE 19号」の発刊が、大変遅れ、会員の皆様はじめ、各企業様に多大のご迷惑をおかけ致しました事を深くお詫び申し上げます。

PR委員増強委員会 鈴木基一



日本大昭和板紙株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1番3号
TEL:03-3242-7311 FAX:03-3242-7312

■生産会社

- 日本大昭和板紙東北
- 日本大昭和板紙関東
- 日本大昭和板紙吉永
- 日本大昭和板紙西日本